

令和2年度 事業所における自己評価について

*環境・体制整備について

- ・療育を行うスペースは、十分に確保している。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、少人数でのグループ分け等で、複数の部屋を使用する等の工夫をして、療育を行っている。
- ・職員体制については、新しい職員を増員し、定められた配置数をクリアしている。
- ・感染症予防として、施設内の消毒を行い、安心して利用いただける様、毎日の清掃、消毒を徹底している。

*業務改善について

- ・児童発達支援、放課後等デイサービスともに、毎日の打ち合わせとカンファレンスを行い、共通理解を図っているが、時間の確保が難しい時もある。
- ・保護者向け評価表や、面談等での保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている。
- ・研修については、専門の先生による内部研修に加え、今年度は、リモートによる研修への参加ができたことは良かった。今後もできるだけ参加できるように考えていく。

*適切な支援の提供について

- ・児童発達支援、放課後等デイサービスともに、個別支援計画に基づき、それに沿った支援を行っている。打ち合わせとカンファレンスを毎回行い、またしっかり記録をすることで、支援の検証・改善につなげている。

*関係機関や保護者等との連携について

地域の行政、保健、福祉、保育、教育等の関係機関と連携して、まんまるの施設運営を行っている。直接関わる機関等との連携はできるだけ取っているが、他の機関については、まだ充分とは言えない。

*保護者等への説明責任について

- ・利用の流れやルールについては、必要な時間、内容ごとに説明を行っている。手紙や、一斉メール等で全員に伝わるようにしている。個別説明が必要な場合も多いので、その都度丁寧に伝えていける様、心がけていく。
- ・個別支援計画については、時間を取り、保護者等と話し合い同意を得ている。

*非常時の対応について

- ・非常時の対応については、毎月避難訓練等を行い、職員や保護者等に周知している。